

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101359
法人名	社会福祉法人 野の花会
事業所名	グルッペ 野の花
所在地	鹿児島県鹿児島市与次郎一丁目4番18号 (電話) 099-230-7777
自己評価作成日	平成29年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は平成28年2月1日アルテンハイム鹿児島島の2階に街中であって生き活きと暮らせるグループホームとして開設いたしました。ケアタウンアルテンハイム鹿児島島は有料老人ホーム、認知症対応型通所介護、通所介護(夢のみずうみ村デイサービス)、介護老人福祉施設、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護が併設している複合型施設になります。認知症で自立した生活が困難になったお客様に家庭的な環境の下で食事、入浴、排泄等の日常生活の支援や心身の機能訓練を行うことにより、お客様が安心と尊厳のある生活が継続できるよう自立支援に努めています。また、日課に散歩や脳活性化リハビリを取り入れ、認知症予防や改善にも取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・アルテンハイム野の花会が母体のグループホームで有料老人ホームや介護老人福祉施設、通所介護等がある8階建ての複合系施設の2階に位置する。
- ・緊急時は各施設間の連携がとれ、24時間医療連携体制が整っている。歯科衛生士による口腔機能の維持に努めケアが充実している。
- ・地域行事に参加したり、施設の行事も多彩で、夏まつりやクリスマス等に家族や地域住民の参加があり、ボランティアのブラスバンド演奏や踊りなどが行われ、楽しみながら交流している。
- ・利用者が穏やかに過ごし続けるため、家族や地域が共に支え合う関係作りに努めている。管理者や職員は科学的・医学的根拠に基づいた質の高いケアを目指し数多くの研修を受け、日々自己研鑽に励み資格取得やケアのレベルアップに努めている。
- ・日課に脳活成のリハビリや散歩等を取り入れ、入居者の表情が穏やかである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念に基づきお客様の生活全般を文化ととらえ、科学的介護、質の高い介護、生きる喜びを支えるケアの実現に努めています。理念はケア会議や広報誌等で周知を図っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人の理念があり、入居者の生活全般を文化と捉え、生き活きと暮らせるように取り組んでいる。職員は理念を念頭において実践し、ケア会議等で振り返り、話し合いを行い支援に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の暮らしの中での散歩や買い物、地域行事へ積極的に参加し交流を図っている。また、ボランティアの受け入れや地域との交流も行っている。	地域の行事や小学校の運動会・夏祭りに参加している。施設の夏祭りには住民や家族・子供も多く参加し、演奏や踊り等で賑やかに過ごしている。敬老会にはボランティアの慰問があり大正琴や懐かしのメロディーを披露し楽しんでいる。法人合同のクリスマス会には、家族や地域の方も多数参加して、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人はこれまで、地域に向けての講演会や勉強会を定期的開催している。事業所は家族や地域へ認知症相談や支援の方法などを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催し、お客様の状況や活動報告を行い、委員の方々からの意見や情報はその都度職員へ伝え、サービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。入居者の様子やホームの活動状況を報告し、感染症や行事・避難訓練についても報告している。家族や民生委員の質問、行政からの情報や提言で入居者の体調管理や緊急時・職員の勤務体制などの質問があり、意見や提案はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは問題点や情報等その都度相談や報告を行っている。長寿あんしん相談センターの職員と運営推進会議や日頃から情報交換や連携を図っている。</p>	<p>市の担当者とは日頃から、電話や窓口に出向き、相談や報告をしてアドバイスを受けている。行政主催の研修会には積極的に参加し、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人は開設当初から身体拘束をしないケアを実践している。新人職員にもまず初めに理解を求める研修を行い、法人でも定期的に勉強会を実施している。事業所では年間研修計画にて定期的に勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを実践している。</p>	<p>マニュアルを作成している。年間計画をたて、身体拘束をしないケアについて、定期的に3ヶ月毎に勉強会を実施し意見交換を行い全職員が入居者の自由な暮らしを支えている。ホームではさらに言葉による拘束も含めて、言葉を遮断することがないよう気配りしている。昼間は玄関の施錠はせずに、職員間の連携で見守りを行い拘束をしないケアの実践に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関するマニュアルを作成し、年間研修計画にて定期的に勉強会を行っている。又、日常の声掛けやケアでもスタッフ間でお互いに注意し、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関するマニュアルを作成し、定期的に研修会を実施したり、施設外研修に参加した職員が伝達勉強会で伝えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前にご本人も含めて見学いただき、契約の際は管理者が内容を十分説明し、理解・納得して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	お客様やご家族の意見、要望は面会時や運営推進会議、家族会等で確認し、その都度対応するようにしている。年1回は法人すべての事業所が参集し、第三者委員を交えての委員会も開催している。	利用者からは、日常の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時や運営推進会議の時、意見や要望を聴いて把握している。第三者委員を交えた、法人事業所全体の委員会を年1回は開催している。家族からの意見は受容して運営に反映している。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>鹿児島事業所の全職員が集まる定例会を設けており、定例会は理事長も参加され、運営やサービス内容等を協議している。また、ケア会議では職員の意見が出やすいように配慮している。</p>	<p>管理者は職員会議やケア会議で意見が云いやすいように、日頃からコミュニケーションを取っている。意見や提案は管理者会議や定例会などでも検討し、運営やケアに反映している。月1回のケア会議で職員の意見を聞いて、適切にアドバイスしている。個別の対応も行い、勤務の交代や資格取得についての意見を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人は年2回の人事考課制度を導入し、職場環境の整備に取り組んでいる。管理者が個別面談にて個人目標や意見を聞く機会を設け、人材育成やスキルアップに繋がるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修は今の時代にふさわしい講師を招いて、職員全員で研修が受けられるように配慮している。当法人研修センターで資格取得へのサポートも行っており、無料の受験対策講座等も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の同業者との交流や職員も積極的に外部研修へ参加できる機会を設け、サービスの質が向上するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用開始前には必ずご本人・ご家族と面談し、身体状況や環境、生活歴等伺いながら本人の安心を確保し、不安や寂しさを感じないような関わり心がけている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人同様にご家族の想いや不安、要望等を確認し、安心して利用ができるよう関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族が何が困っているのか、何が不安なのかを見極め、必要なサービスも含めての対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの中でお客様のできる事や役割を見つけ、自立支援を促すケアに取り組んでいる。ゆっくりとした時間を一緒に過ごし、尊厳を大切にしながら関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共にお客様を支えるように随時連絡や相談を行っている。また、行事への参加やお盆、正月などご家族との時間が持てるよう呼びかけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様一人ひとりの想いを尊重し、実現できるように努めています。懐かしい景色や街並みをドライブで楽しんでいただき回想に繋げるなど支援しています。	知人や友人の訪問を奨励している。兄弟や親戚の面会が多く、お茶などを出して訪問しやすい雰囲気作りに努めている。馴染みの店へ買物支援をしている。自宅訪問で住んでいた所や家周辺の懐かしい景色を車でドライブしている。馴染みの美容室や墓参り・家の仏壇へは家族と一緒に出かけている。馴染みの人や場所との関係が、途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の席やレクリエーションの場所等お客様の状態や性格など配慮しながら支援している。日々の暮らしの中で状態が安定し、お客様が共に支え合う環境になるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退居にて契約が終了しても入院先に出向いたり、電話などで近況の確認を行いご本人・ご家族が不安にならないように相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いを大切にその方らしく暮らしていただく為に、ご本人・ご家族からの意向や希望を伺い、可能な限り本人の思いに沿った支援に努めている。	職員は利用者の担当を決めて、きめ細かく思いや意向の把握に努め、会話や表情・動作から把握したり、家族の意向を聞いたりしている。外出したい時は職員と一緒に出かけている。入浴は毎日が良い、下膳は急がない・ダメを言わない支援に努めている。意思疎通が困難な場合は家族と話し合ったりして、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用開始前にご本人やご家族、担当されていた関係機関からの情報や生活環境等の情報収集し、職員間で共有できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしや心身状態等を個別記録に残し、職員間で連携を図り情報共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意向や課題を考慮しながら介護計画書を作成し、担当者会議を開催している。また、定期的なモニタリングや状態に応じて介護計画書の見直しを行うようにしている。	本人や家族の意向や課題を踏まえ、主治医や関係者の意見を入れて介護計画書を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況に変化があった時は、その都度見直し、現状に即した介護計画書を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々のケース記録に日々の状態や言動、経過等記録している。また、食事や水分、排泄等も記録し職員間で情報を共有しながら必要に応じて介護計画の見直ししている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>サービス計画以外でも多様なニーズや意向に応じて必要な時に必要なサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事や事業所の外出行事等できるだけ地域の中へ出かけるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人・ご家族の希望やこれまでの主治医との関係が継続できるように支援している。家族が受診介助できない時や緊急時は職員で支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。協力医療機関から月2回の往診がある。緊急の場合は主治医に連絡して、24時間医療連携体制で対応している。看護師の週2回の訪問がある。眼科・皮膚科は協力医が対応している。受診結果は、異常があった時は家族に連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護師がおり、介護職との情報交換や医療機関との連携が図れている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院後は管理者が定期的に訪問や状態確認し、主治医との連携で早期に退院できるように支援している。日頃よりかかりつけ医療機関との連携を図るように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期、緊急時の対応等については日頃よりご家族と話し合い、主治医の助言をいただきながらご家族が不安にならないように支援している。看取りケアマニュアルにて職員も研修に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に向けた方針を説明し、状況の変化を段階的にみて、日頃より家族と話し合い、主治医の助言のもと、事業所でできることを説明し支援している。看取りケアマニュアルを基に主治医の指示のもと職員も共有して支援できる体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故対応マニュアルもあり、定期的に勉強会も実施している。特養や小規模多機能も併設しており、緊急時はお互いに連携がとれるようになっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルもあり、建物全体で年2回、日中、夜間想定で訓練を実施している。地域の協力体制は現在調整中である。</p>	<p>法人全体で年2回、昼夜想定で災害訓練を実施している。災害時のマニュアルもあり、避難誘導や誘導場所の確認を行っている。併施設との協力体制もできている。職員は出火場所確認や人員確認などビル火災に対応した訓練を実施している。スプリンクラーがあり、部屋が自動で防火扉になる。地域の協力体制は、現在調整中である。災害時の水や米・食料品等、備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の理念に深く関わっており、もっとも大切にしている部分である。マニュアルや基準書もあり、随時確認できるようになっている。外部講師による法人全体の研修を定期的実施している。	マニュアルがあり、外部から講師を招へいして研修会を定期的開催している。人格を尊重し、声かけや言葉遣いは研修会や勉強会を通し、繰り返し確認と改善に向けた取り組みをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の暮らしの中で同じ目線でゆっくり傾聴し、会話を楽しめる環境に努めている。自分の思いや希望をうまく表出できない方は表情や仕草からくみ取り自己決定の支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、ゆっくり待つことを基本にその人らしく暮らせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に応じた身だしなみやおしゃれが楽しめるよう配慮し、行事や外出時はふさわしい衣類や化粧等支援している。希望でカットやパーマ、染めなどの利用も行えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の状態や嗜好に応じた食事を提供し、食前の嚥下体操やできるだけ自力摂取を促している。また、食事の準備や片づけは楽しみながら一緒に行っている。	入居時に個々の嗜好を聞き、嗜好に合わせ食事の形態を工夫した献立である。食前に献立の紹介をして、嚥下体操などを取り入れ、自力で全量摂取できるように配慮している。配膳や下膳等を職員と一緒に行って食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考慮した食事を提供し、毎日の食事や水分等は記録に残し把握している。水分や食事が少ない方は主治医や家族へ報告し、対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の身体状況に応じて口腔ケアへの声掛けや介助にて毎食後実施している。介助の必要な方は歯科衛生士の指導を受け、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プライバシーに配慮しながら排泄介助の必要な方は排泄チェック表を作成し、排泄パターンに応じた排泄ケアに努めている。また、各居室にトイレがあり安心して排泄ができる環境になっている。	排泄チェック表があり、排泄パターンに合わせ、昼間はおむつゼロを目指してトイレでの排泄を支援している。運動や水分補給・食生活に注意して自然排便を支援している。各部屋にトイレがあり、見守りや清潔を保っている。排泄の自立された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の日課に体操、歩行訓練や天気の良い日は屋外へ散歩など運動を取り入れ、薬を使わずに運動、食事、水分で便秘予防に取り組んでいる。水分は1日1500mlを目標にその方に応じた飲み物を提供している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制になっており、本人の希望される時間帯に個室でゆっくり入浴ができる。また、着脱や洗身は見守りながら自立支援の介護で支援している。	入浴は週6日、毎日入浴できる。入浴日や時間・温度・介助など職員のローテーションを図りながら、個室で傾聴の時間にもなっている。脱衣や身体を洗うのも、見守りしながら、できるだけ自力でできるように支援している。入浴を嫌がる利用者には家族に協力してもらっている場合もある。無理をしないで対応している。季節に合わせてゆず湯やしょうぶ湯・保湿入浴剤を使用して希望に沿った入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態や体調に応じて休息や午睡ができる環境を設定している。午睡で生活リズムが崩れないよう日中の活動プログラムにも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情は個別台帳にいつでも見れるように準備し、確認・理解ができています。服薬時は誤薬や飲み忘れがないように介助や手渡し、服薬状況を記録に記入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の趣味や生活歴から役割や楽しみ、できる事を共に模索しながら支援している。屋外の散歩や買い物、ドライブ等で気分転換も図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の散歩や外気浴、ドライブ、買い物等できるだけ屋外へ出かける機会をつくるようにしている。年間行事や地域の行事へご家族や地域の方々との協力を得ながら出かけるようにしている。	日常的には近隣の散歩や外気浴・買い物に出かけている。花壇の花を摘んで部屋に飾ったり、散歩してパンジーや水仙・椿を見て楽しんでいる。年間計画に沿って、毎月外出支援を行い、バラやコスモス・桜の花見・おいどん市場や物産館で旬の野菜を見たり、法人と一緒におはら祭りに参加して踊ったりしている。家族や地域の協力を得ながら、外出は全員で出かけている。家族との外食や墓参りなども支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は本人がお金を持つことの大切さを理解し、自己管理できる方は自由に使えるような支援を行っている。自己管理が難しい方は家族の理解を得ながら買い物等できるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の状態を確認しながら、電話の取り次ぎや希望時は電話をかける等の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や装飾を飾ることで季節感や家庭的な雰囲気を感じるような工夫をしている。また、居室は室温や湿度に注意し、馴染みの物を使っていただき、居心地のいい空間づくりに配慮している。	廊下は広くて明るい。共用空間は大きな窓があり、加湿器を設置し空調管理が整っている。ひな人形や絵画が飾られている。テーブルには庭で摘んだ季節の花があり、手すりが工夫され、お喋りやぬりえ・テレビを楽しめるソファがあり、ゆっくりくつろげるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルや椅子、ソファの配置を工夫し、お客様同士が楽しく語らえる空間や一人で過ごせる居室や空間を整えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的には家具等は事業所で準備してあるが、持ち込みも自由である。ご家族の協力で大切な物や思い出の品などの持ち込みもあり、自宅の環境に近い状態で安心して過ごせるように工夫している。	居室はベッドやタンス・トイレが設置してある。家から持って来た時計やテレビ・衣装ケース・写真・加湿器・冷蔵庫などがあり、個性的に設営され、家のように居心地よく過ごせる工夫がされている。洗面台に化粧品も置かれている。ハンガーに好みの洋服やバッグがかけられ心が和むような居室がつけられている。温湿度計を使い快適な居室環境である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーになっており、廊下幅も広く車椅子や歩行器での移動も可能である。すべて個室で電動ベッドにてお客様が動きやすい環境設定となっている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない